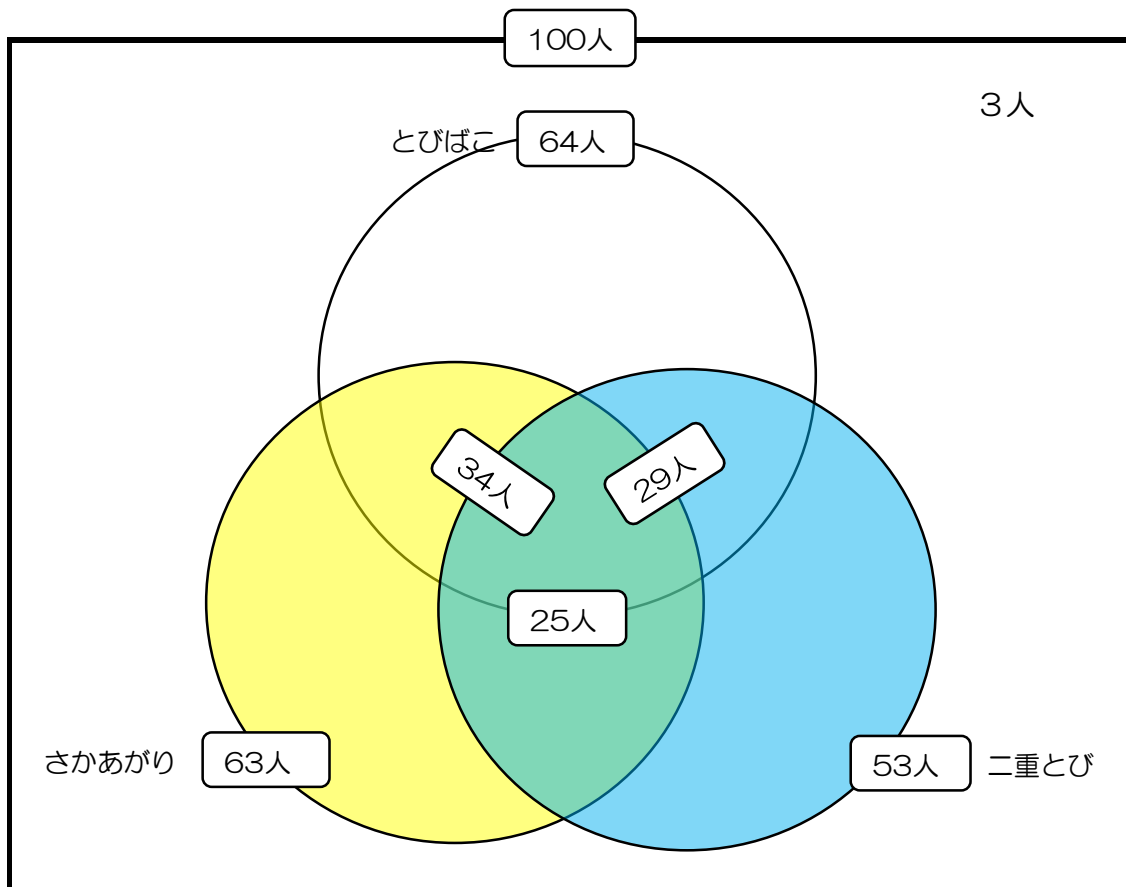


☆挑戦状☆（算数解答編②）

① 3つともできる人！

こたえ 5人

円を3書いて、円の中に入っている人ができる人を表す図を書きます。（ベン図ですね！）
円が重なっているところは、両方ともできることを表します。



求めたい人数は真ん中の3つの円が重なっている部分です。

どれか1つでもできる人数は $100 - 3 = 97$ （人）,

種目ができるのべ人数は $64 + 63 + 53 = 180$ （人）なので,

$(2 \text{ 種目できる人}) + (3 \text{ 種目できる人}) \times 2 = 180 - 97 = 83$ （人）…㊦

$(\text{とびばことさかあがりができる人}) + (\text{さかあがりと二重とびができる人}) + (\text{とびばこと二重とびができる人}) = 34 + 25 + 29 = 88$ （人）, これは

$(2 \text{ 種目できる人}) + (3 \text{ 種目できる人}) \times 3 = 88$ （人）…㊩とも考えられます。

ここで、㊦－㊩をすると3種目できる人数がわかります。

$88 - 83 = 5$ 人

② こわれた電卓！

答え

$$\begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|} \hline \square & \square & \square \\ \hline \square & \square & \square \\ \hline \end{array}$$

わかりやすいところから考えていきます。

$$\begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|} \hline \square & \square & \square \\ \hline \square & \square & \square \\ \hline \end{array}$$

ア イ ウ エ オ カ キ

ア～キの数字のうち、ウの数字は2、オは8しかありません。

$$\begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|} \hline \square & \square & \square \\ \hline \square & \square & \square \\ \hline \end{array}$$

ア イ ウ エ オ カ キ

イは0か8と考えられますが、キは4か9しかありえませんが、8です。イが8ということは、キは4しかありえません。

$$\begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|} \hline \square & \square & \square \\ \hline \square & \square & \square \\ \hline \end{array}$$

ア イ ウ エ オ カ キ

さらに、エは3となります。これまでにわかった数字から、アも3と決まります。

$$\begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|} \hline \square & \square & \square \\ \hline \square & \square & \square \\ \hline \end{array}$$

ア イ ウ エ オ カ キ

これまでにわかったア～エの数で計算すると、カは7とわかりました。

$$\begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|c|} \hline \square & \square \\ \hline \square & \square \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|} \hline \square & \square & \square \\ \hline \square & \square & \square \\ \hline \end{array}$$

ア イ ウ エ オ カ キ



①は重ねている部分がポイントだね！

②はわかりやすいところから、順に考えていこう。